

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公表番号】特表2010-514981(P2010-514981A)

【公表日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-543977(P2009-543977)

【国際特許分類】

F 0 2 C 3/05 (2006.01)

F 0 1 D 1/08 (2006.01)

F 0 2 C 3/22 (2006.01)

F 0 2 C 3/14 (2006.01)

F 0 2 C 7/16 (2006.01)

F 0 1 K 25/00 (2006.01)

F 0 1 K 23/10 (2006.01)

C 0 1 B 3/48 (2006.01)

B 0 1 J 23/86 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 3/05

F 0 1 D 1/08

F 0 2 C 3/22

F 0 2 C 3/14

F 0 2 C 7/16

F 0 1 K 25/00 B

F 0 1 K 23/10 T

C 0 1 B 3/48

B 0 1 J 23/86 M

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年5月10日(2013.5.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 5】

スリップチャンバ 4 0 9 と熱交換器 4 2 0 との間に、及び / 又は、蒸気スリップチャンバ 4 1 7 と蒸気タービン 4 1 8 との間に、ターボチャージャ（図示せず）を据え付けることも可能であり、そこでは、新しいターボチャージャ内の加圧流体 / 蒸気は、熱交換器及び凝縮器 4 2 0 を介して伝えられ得る新しい流体を圧縮し、そこでは、流体内の水分は、乾燥した冷たい新しい流体が独自のスリップチャンバ（図示せず）又は類似物を通じて入口通路 4 0 5 又は噴射機ノズル 4 2 2 のいずれかに方向付けられるようさらに加圧される前に、分離される 4 2 6。同様に、それは軸方向タービン 4 1 0 又は蒸気タービン 4 1 8 のいずれかの上で流体タービン充電器 / 圧縮器に接続されることができ、或いは、それはシャフト入口 4 0 5 に並びにシャフト入口から接続されることができ、その場合には、最後に述べたものはガスタービンのようであり、そこでは、本発明装置は、軸方向圧縮器と拡張タービンとの間にある。その場合には、燃焼室及び膨張室は、上昇通路 4 0 7 と類似する。